

昭和51年10月2日第3種郵便認可（毎月5・15・25日発行）OSTKみんなのしあわせ増刊

発行 障連協定期刊行物協会 購読料1部100円 年間購読料 1200円

〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-11-22 TEL (06) 6697-9005 FAX (06) 6697-9059

OSTK
みんなの
しあわせ

2018年1月9日 No.204 (1月号)

よさみの
ニュース
よさみ野障害者作業所

〒558-0023大阪市住吉区山之内4-12-31

TEL (06) 6699-7767 FAX (06) 6699-7888

新年のお慶びを

申し上げます

旧年中は、格別のご厚情を賜り、

深く御礼申し上げます。

昨年は大阪府の障害のある人への福祉医療費助成制度の見直しが行われ、障害のある人の医療費負担が増えることが決定しました。障害のある人の多くは低所得な上、障害のない人と比べ医療を必要とする人も多く、障害のある人の生活に暗い影を落とすものとなります。制度を元に戻し、障害のある人が安心して医療を受けることができるように、障害福祉実践の現場から声をしっかりと届けていく決意です。

さて、今年でよさみ野福祉会は、よさみ野障害者作業所を開所して七年目を迎えます。ひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物です。心からのお礼を申し上げます。また、これから、作業所に通う彼ら彼女らの生活がより充実したものとなるよう、職員一同、心を新たにするとこ

ろです。
本年も引き続き、皆さま方の温かいご支援・ご協力を頂戴できますようよろしくお願い申し上げます。

二〇一八年 一月

社会福祉法人 よさみ野福祉会

理事長 安食 正雄

よさみ野障害者作業所

管理者 荒木 勝司



クリスマス会

ひよこ作業所ステージ発表



エレクtoon演奏

去る12月8日(土)に合同クリスマス会が開催されました。今年もひよこ作業所、コロたま倶楽部、よさみ野障害者作業所、そして地域の方の参加と盛大なクリスマス会になりました。

今年は、エレクtoon奏者の方を招き、クリスマスソングやリクエスト曲の演奏がありました。

多彩なステージ発表に大いに盛り上がり、年に一度のパティ形式の取り組みに、参加者は普段と違った装いで華やかな雰囲気になりました。

作業所を超えて其々が交流し、楽しいひと時を過ごしました。

メリークリスマスで乾杯!



サンタ登場!



一緒に歌ったり盛り上がりました♪



第2回利用者交流会 コンペイトウミュージアム




去る11月29日にコンペイトウミュージアムにて、利用者交流会が行われました。第一回交流会が天候に恵まれず中止となったため、今回は各作業所から、多くの参加者が集まってくれました。



作業工程の説明を受けた後、着色・香りづけの作業を体験しました。部屋中に甘い香りが広がり、参加者の表情がみるみる笑顔になっていきました。最後には、自分達で作った金平糖と、修了証をお土産として頂きました。



味付け・香りづけ上手く出来ました！
今回は、青色・サイダー味！！



支援者(後援会)にご加入
継続の力が続きます。

藤川	古旗	伊東	田中	丸谷	田下	小林	松村	若井	松本	平部	速水	鳥越	川邊	齋藤	平井
隆広	孝	清	和子	賢司	恵子	憲央	高志	英子	照子	千壽	美代子	清貴	洋子	繁明	啓祐
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
								沢井	土井	難波	田畑	井上	角田	太田	
								比良	瑞代	一郎	陽子	力	フローラ	淳一郎	
								様	様	様	様	様	華子	様	

(12月26日現在)

ありがとうございました。

ボランティア募集

土曜取り組み

日にち: 毎月第3土曜日

場所: よさみ野障害者作業所

よさみ野では毎月第3土曜日にお菓子作りや音楽活動を行っています。仲間の介助などを手伝って頂けるボランティアさんを募集しています。

よさみ野ではなかま（利用者）の活動をより充実させていけるように、様々な形でのボランティアを広く募集しています。

ご協力いただける方は、当作業所までご連絡をお願いします。

<連絡先>

よさみ野障害者作業所

6699-7767

御寄付

- ・山野 裕善 様
- ・中 元 様

ありがとうございました。

ともしび

障害者作業所の連絡会であるきょうさんれんの調査により、9割近くの障害のある人の所得が122万円以下で、とても低水準であることがあきらかになりました。

そうした中、来年度の障害福祉サービス報酬改訂に合わせて、食事提供体制加算が廃止され、障害のある人にさらなる負担を押し付けようとする動きがありました。しかし、多くの反対の声により、廃止は延期されることが厚労省より示されました。

どうして障害のある人が低所得な状況にあるにも関わらず、このような負担増を政府は押し付けようとしているのでしょうか。その理由としては、社

今後の予定 +自主製品販売

●定例区役所販売(第1・3月曜日)

日にち: 1月15日
2月5日・19日

場所: 住吉区役所1階
時間: 10:00~15:00

●住吉区文化フェスティバル

日にち: 2月17日
場所: 住吉区民センター
時間: 10:00~16:00

●住吉区文化フェスティバル

日にち: 3月17日
場所: 住吉区民センター
時間: 11:00~15:00

ぜひお越し下さい！！

会保障費に関しては、自然増の1300億円の削減ありきで、様々な政策の方向性が打ち出されてきていることにあります。

つまり、障害のある人の実態から政策を考えるのではなく、決められた予算の枠組みに政策を合わせていくという歪んだプロセスによって、さまざまに法律や制度が形作られているという事です。

日本国憲法では、生存権をはじめとした権利が国民に保障されると謳われており、政府にはそれを保障する義務があります。しかし、財政ありきの政策決定で、国民の実態が二の次では、国民の権利を守ることができません。憲法が活かされる国になるように国民の側から政治に働きかけることが、いま求められています。

(S)